MITSUBISHI

Recycled Paper

高効率年間冷房型空調機

R407C対応

冷媒回路内にほこり、ゴミ、水分等が混入しないよう、従来以上に冷媒配管工事に注意してください。

室内ユニット

PADY－P170NM-A2

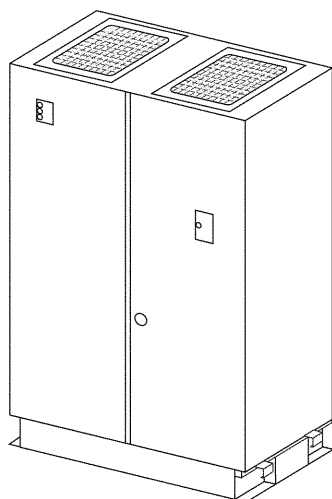
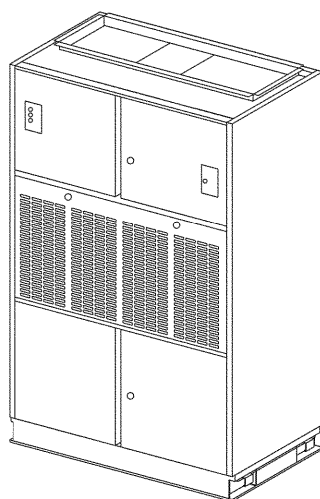
PADY－P170NMT-A1

室外ユニット

PVDY－P170NM-A2,A3（標準仕様）

PVDY－P170NM-A2,A3－BS（耐塩害仕様）

PVDY－P170NM-A2,A3－BSG（耐重塩害仕様）

取扱説明書

【PADY-P170NM-A2】

【PADY-P170NMT-A1】

もくじ

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、必ずこの説明書をお読みください。
●お読みになったあとは、『据付説明書』とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
●保証書は、『お買い上げ日・販売店名』などの記入をお確かめの上、大切に保管してください。
●お使いになる方が変わる場合、本書と『据付工事説明書』『保証書』をお渡しください。
●お客さまご自身では、据付け・移設をしないでください。（安全や機能の確保ができません。）

フロン回収・破壊法　第一種特定製品

1）フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。
2）この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。
3）冷媒の種類及び数量並びに冷媒の数量の二酸化炭素換算値は、定格銘板あるいはフロン回収銘板に記載されています。
4）冷媒を追加充填した場合やサービスで冷媒を入れ替えた場合には室内ユニット内部の冷媒量記入ラベルに必要事項を必ず記入してください。

1．安全のために必ず守ること

・据付けおよびご使用の前に必ずこの「安全のために必ず守ること」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があるもの。

・本文中のイラストは、ご使用になっている機種と違うものがありますが、ここに記載されている注意事項は、すべての機種に適用されます。
・本文中に使われる"図記号"の意味は次のとおりです。

⃠	絶対に行わないでください。
❗	必ず指示に従い行ってください。
⏚	必ずアース工事を行ってください。
⚠	感電注意を促します。
⃠	分解禁止を促します。
⃠	接触禁止を促します。

・お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。お使いになる方が代わる場合は、必ず本書をお渡しください。

お使いになる前に

⚠警　告

お客さま自身で据付けはしない。

・据付けは、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。
ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

電源回路を確認する。

・電源がエアコン専用の回路になっていることをご確認ください。
・正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。
・定格の電源、ブレーカー容量になっているかご確認ください。
容量の大きなブレーカ－あるいはヒューズや針金・銅線を使用しますと、火災やエアコンの故障の原因になります。
・電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。
漏電遮断器が取付けられていないと感電の原因になります。

保護装置の改造や設定変更をしない。

・圧力開閉器や温度開閉器の保護装置を短絡して強制的に運転を行ったり、当社指定品位外のものを使用すると火災や爆発の原因になります。

お使いになる前に…

⚠警　告

当社指定外の部品を使用しない。

・別売部品は、必ず当社指定の製品を使用してください。
また、取付けは、専門業者に依頼してください。ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。

据付け状態を確認する。

・室内・室外ユニットが転倒しないように、堅固で水平な基礎に固定されていることをご確認ください。

必要に応じて換気対応をする。

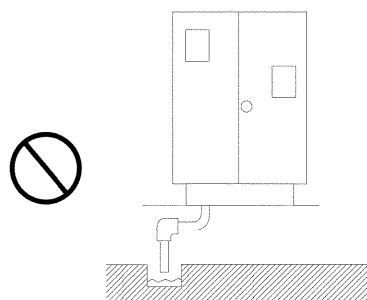
・小部屋へ据付ける場合は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策が必要です。限界濃度を超えない対策については、販売店と相談して据付けてください。
万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。

⚠注　意

アースを確認する。

・アースを取付けてください。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アース線が不完全な場合は、感電、発煙、発火、およびノイズによる誤作動の原因になります。

ドレン排水を確認する。

・ドレン配管は、確実に排水するように施工してください。配管工事に不備があると、水漏れし、家財等を濡らす原因になります。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所には据付けない。

・万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になります。

運転するときは

⚠警　告

吹出口、吸込口に指や棒等を入れない。

・空気の吹出口や吸込口に指や棒を入れないでください。
内部でファンが高速回転していますのでケガの原因になります。

長時間直接お肌に冷風を当てない。

・長時間冷風を体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにしてください。
体調悪化、健康障害の原因になります。

直接風が当たるところに動植物を置かない。

・動植物に直接風が当たる場所には、設置しないでください。
動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

運転中にパネルやガードを外さない。

・機器の回転物、高温部、高電圧に触れると、巻き込まれたり、やけどや感電により、ケガの原因になります。

異常時は、運転を停止して販売店に連絡する。

・異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。
異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災等の原因になります。
・音や振動がいつもと異なり、異常に大きな時は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご連絡ください。

エアコンに水をかけない。

・エアコンは水洗いしないでください。
・濡れた手でスイッチを操作しないでください。
感電の原因になります。

運転するときは

⚠注　意

使用温度範囲を守る。

・使用温度範囲から外れたところで使用しますと、重大な故障の原因になります。

運転中掃除をしない。

・掃除をするときは必ず運転を停止して、電源スイッチを切ってください。内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。

長期停止のとき

・長期間使用しないときは、４～５時間送風運転して内部を十分乾燥させてください。
・長期間使用しないときは、「元電源」を“切”にしてください。
電源が入っていると、待機電力を消費するためです。また、ホコリ等が溜まって火災の原因になります。
・運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。また、シーズン中は電源を切らないでください。
故障の原因になります。

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹きつけない。

・可燃性スプレー等をエアコンの近くに置いたり、エアコンに直接吹きかけないでください。
発火の原因になります。

運転停止後、すぐに電源を切らないでください。

・運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず５分以上待ってください。
水漏れや故障の原因になります。

運転するときは

⚠注　意

運転中および運転停止直後の冷媒配管に素手で触れない。

・運転中および停止直後の冷媒配管や圧縮機などの冷媒回路部品は、流れる冷媒の状態により、低温と高温になります。素手で触れると、凍傷ややけどの原因になります。

据付台などが傷んだ状態で放置しない。

・長期使用で据付台等が傷んでいないか注意してください。傷んだ状態で放置すると、ユニットの落下につながり、ケガ等の原因になります。

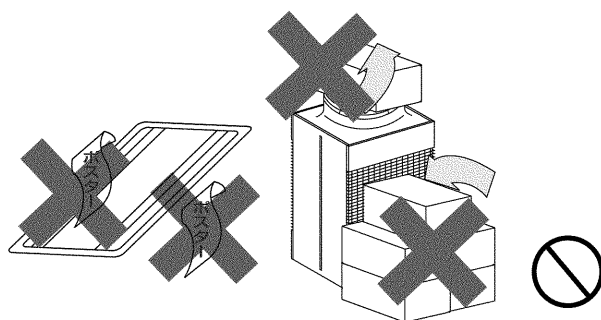
特殊環境に使用しない。

・油、蒸気の多いところや、酸性・アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等を頻繁に使用するところで使用しますと、性能を著しく低下させたり、感電、故障、発煙、発火等の原因になります。

エアコンを数シーズン使用した場合は、通常のお手入れとは別に点検整備を行う。

・室内ユニットの内部にゴミやほこりがたまって、においが発生したり、除湿水の排水経路を詰まらせ、室内ユニットからの水漏れの原因になることがあります。
点検整備には専門の知識と技術が必要です。
お買い上げの販売店に依頼してください。

ユニットの周りに物を置かない。

・吹出口、吸込口の近くに物を置かないでください。能力が低下、または運転が停止する場合があります。

ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない。

・ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。落下・転倒等によりケガの原因になります。

清掃はこまめに行う。

・フィルターを外したまま運転しないでください。内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。
・フィルターを取外すときは、目にホコリが入らないように注意してください。また、踏み台に乗って行うときは、転倒しないようにしてください。
・フィルターの脱着作業は、室内の清浄度に影響が出ないよう、慎重に行ってください。

このようなときはお買い求めの販売店にご連絡ください。

⚠警　告

お客様自身で移設はしない。

・エアコンを移動再設置する場合は、販売店または専門業者にご相談ください。据付に不備があると水漏れや感電、火災等の原因になります。

エアコンを廃棄する場合。

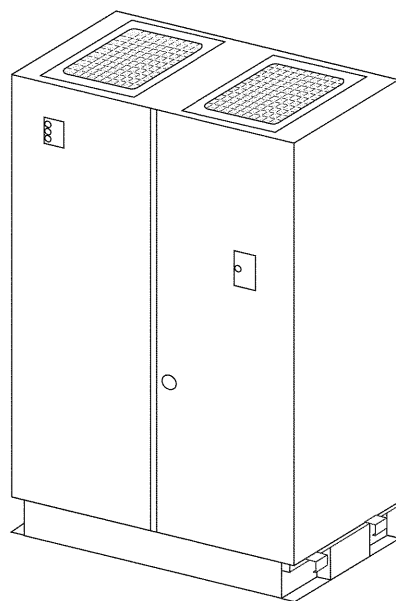
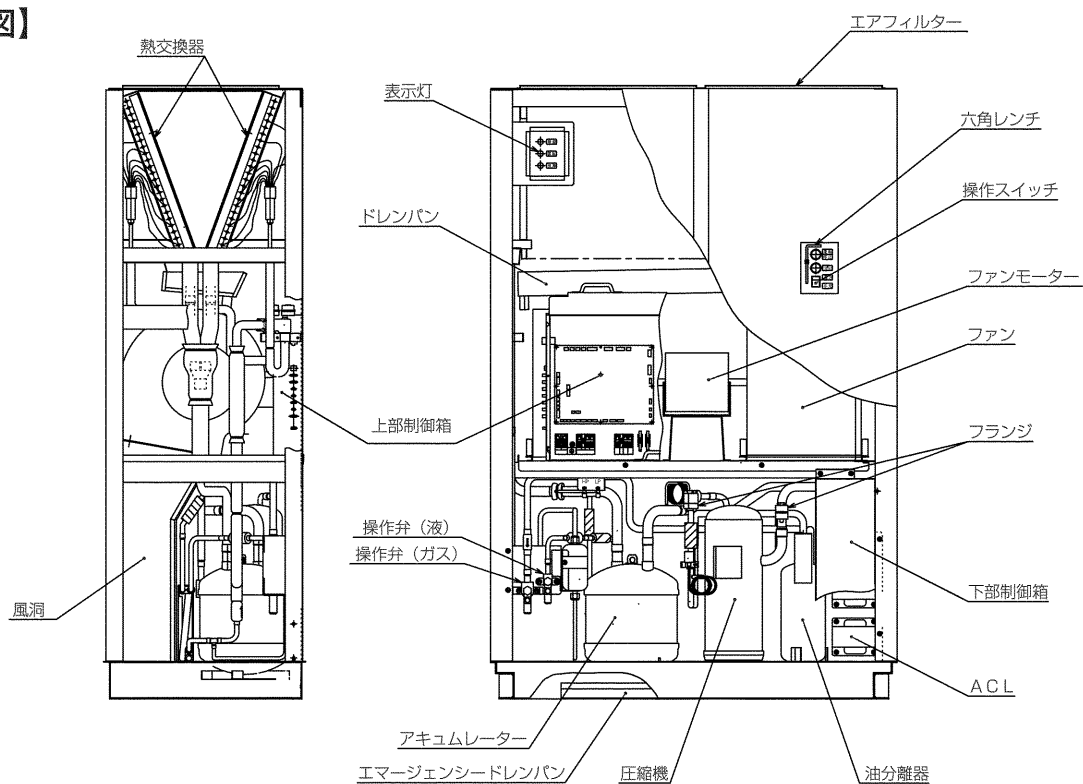
・エアコンを廃棄する場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。配管接続を外すとき、正しい作業を行いませんと、冷媒（フロンガス）が急激に吹出し、皮膚に触れるとケガをすることがあります。また、冷媒を大気に放出すると、地球環境を汚染することになります。

故障した場合。

・改修は絶対にしないでください。また、修理はお買い上げの販売店にご相談ください。
修理に不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。
・液晶コントロールパネルにエラー表示が出て運転しなかったり、不具合が発生した場合は、運転を中止し、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのままにしておくと、火災や故障の原因になります。
・電源ブレーカーがたびたび作動するときは、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのままにしておくと、火災や故障の原因になります。
・冷媒ガスが吹出していたり、漏れている場合は、エアコンを止めて部屋の換気を十分に行い、販売店にご連絡ください。そのままにしておくと、酸素不足の原因になります。

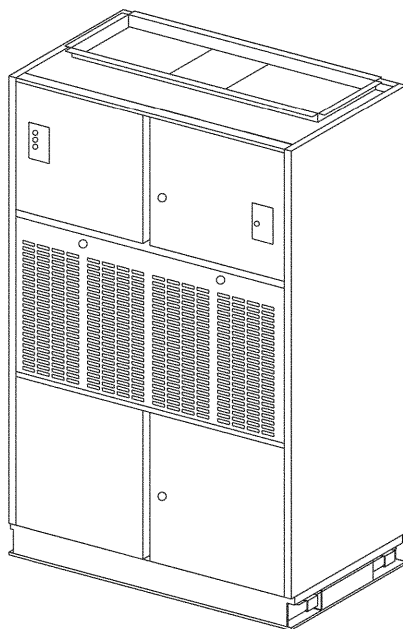
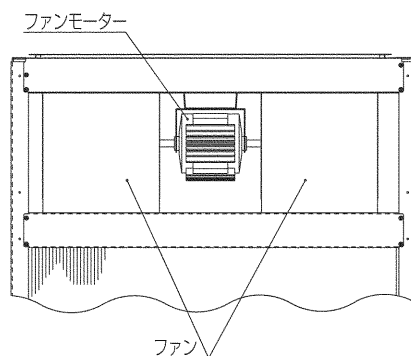
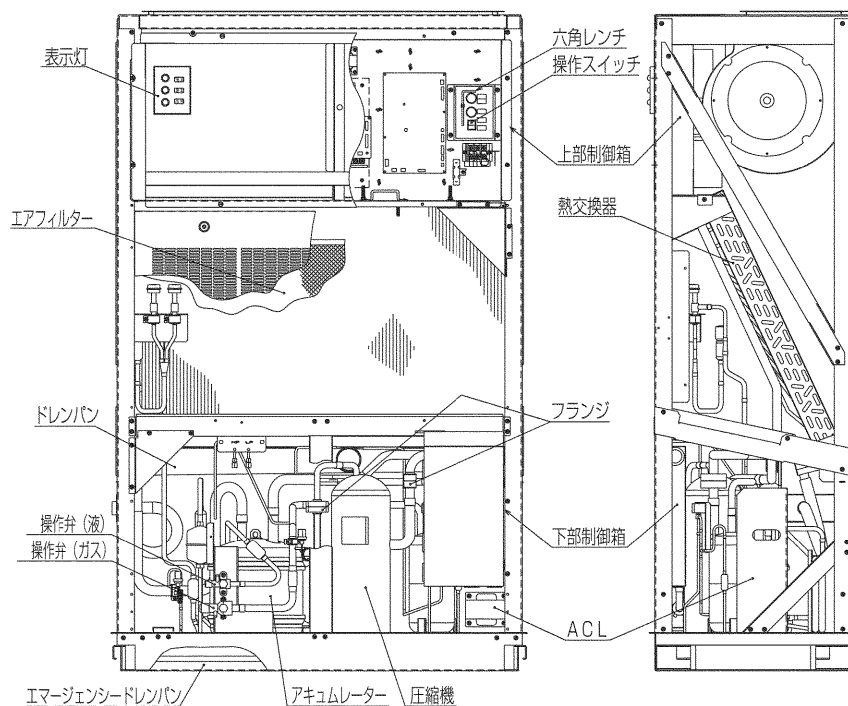
2．各部の名称

1．室内ユニット

PADY-P170NMT-A1

【外観】

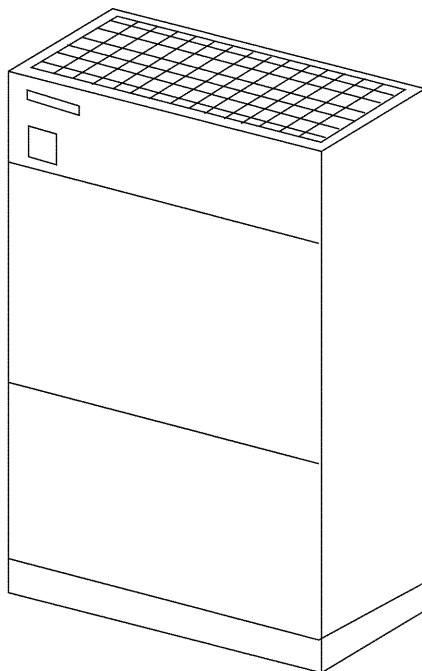
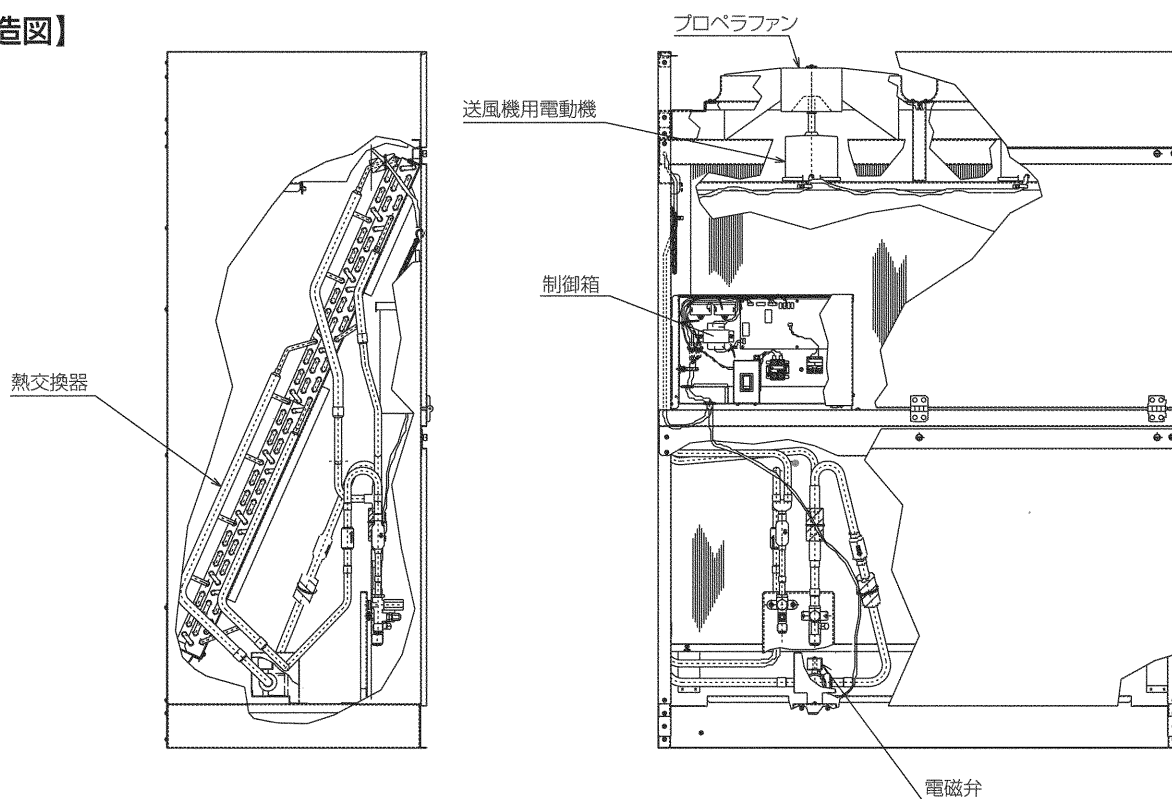
【内部構造図】

表示灯
エアフィルター
ドレンパン
操作弁（液）
操作弁（ガス）
エマージェンシードレンパン
アキュムレーター
圧縮機
六角レンチ
操作スイッチ
上部制御箱
熱交換器
フランジ
下部制御箱
ACL
ファンモーター
ファン

⚠注意

アースを行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

2．室外ユニット

PVDY-P170NM-A2，A3

⚠注意

アースを行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

3．運転のしかた

1．試運転の前に

⚠注意

運転を開始する12時間以上前に電源を入れてください。

・故障の原因になります。シーズン中は電源を切らないでください。

⚠注意

濡れた手でスイッチを操作しないでください。

・感電、故障の原因になります。

⚠注意

運転中および運転停止直後の冷媒配管に素手で触れないでください。

・運転中、停止直後の冷媒配管や圧縮機などの冷媒回路部品は流れる冷媒の状態により、低温と高温になります。素手で触れると凍傷や火傷の原因になります。

⚠注意

運転停止後、すぐに電源を切らないでください。

・必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になります。

⚠注意

エアフィルターを外したまま運転しないでください。

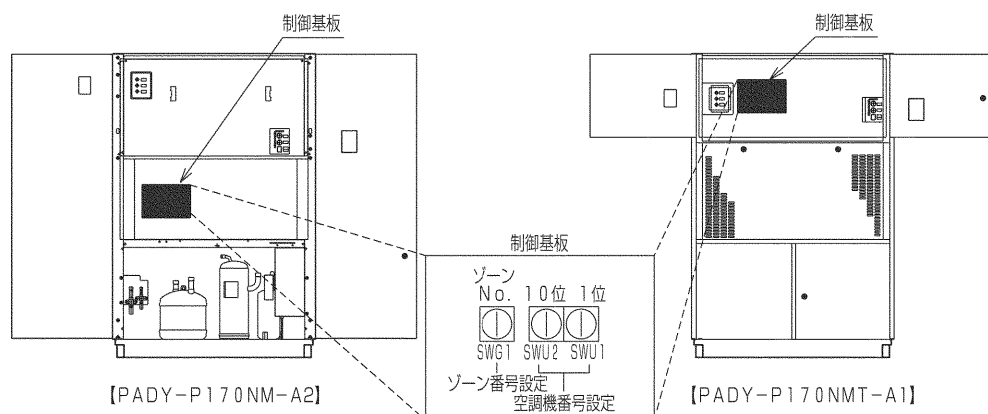
・ユニット内部にゴミが詰まり、故障の原因になります。

⚠注意

運転中にパネルやガードを外したまま運転しないでください。

・機器の回転物、高温部、高電圧に触れると巻き込まれたり、火傷や感電によりケガの原因になります。

■室内ユニットの初期設定

制御基板上のロータリースイッチにより、操作パネルまたはAGCUと通信を行うための空調機番号およびゾーン番号を設定します。

【注意】

スイッチを操作するときは、空調機の停止中に行ってください。運転状態では、設定内容が操作前と変わらず、正常に動作しません。

【空調機番号の設定】

空調機番号はSWU1とSWU2にて、1～20の範囲で設定します。

【ゾーン番号の設定】

ゾーン番号はSWG1にて1～5の範囲で設定します。

ゾーン番号	ゾーンNO. SWG1
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5

空調機番号	10位 SWU2	1位 SWU1
1	0	1
2	0	2
3	0	3
4	0	4
5	0	5
6	0	6
7	0	7
8	0	8
9	0	9
10	1	0
11	1	1
12	1	2
13	1	3
14	1	4
15	1	5
16	1	6
17	1	7
18	1	8
19	1	9
20	2	0

■室外ユニット確認

電源スイッチが入っているか確認ください。

■制御モードの設定

操作パネルにて、空調機の制御モードを設定します。設定できる項目には、温度の制御方法、室内風量制御方法、および室内温度と吹出温度の温度差の３つがあります。
各項目の設定は、操作パネルにて「特殊設定画面」の「２.温度制御設定」を選択してください。

(1)温度制御モード

「制御方法１」にて温度制御モードを選択します。選択できるモードは、下記のとおりです。
①吸込優先モード（スイコミユウセン）
②吹出優先モード（フキダシユウセン）

温度制御設定			▼ ▶
AC	制御方法1	制御方法2	風量
1	スイコミユウセン	サイテイフウリョウ	＊＊Hz
2	スイコミユウセン	コテイフウリョウ	＊＊Hz
3	フキダシユウセン	カヘンフウリョウ	＊＊Hz
4	スイコミユウセン	カヘンフウリョウ	＊＊Hz

※工場出荷時は、吸込優先モードに設定しています。

(2)風量制御モード

「制御方法２」にて風量制御モードを選択します。選択できるモードは、下記のとおりです。
①可変風量（カヘンフウリョウ）
②固定風量（コテイフウリョウ）
③最低風量（サイテイフウリョウ）…風量範囲の下限値を設定する運転モードです。

温度制御設定			▼◀▶
AC	制御方法1	制御方法2	風量
1	スイコミユウセン	サイテイフウリョウ	＊＊Hz
2	スイコミユウセン	コテイフウリョウ	＊＊Hz
3	フキダシユウセン	カヘンフウリョウ	＊＊Hz
4	スイコミユウセン	カヘンフウリョウ	＊＊Hz

※工場出荷時は、可変風量に設定しています。

【注意】

風量制御モードを最低風量（サイテイフウリョウ）に設定した場合は、「風量」にて設定周波数の設定を行ってください。(17Hz～44Hz)

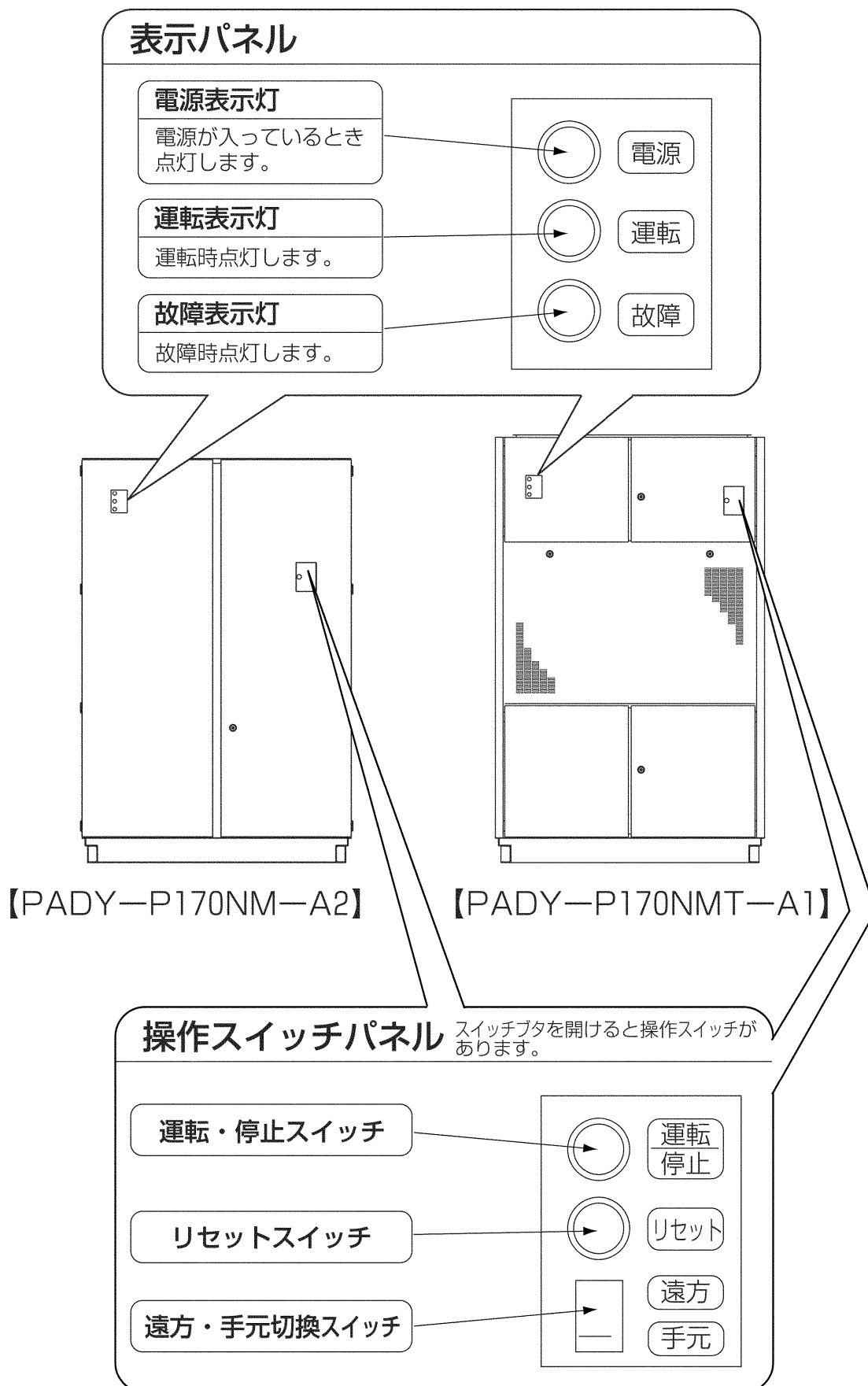
(3)温度差の設定

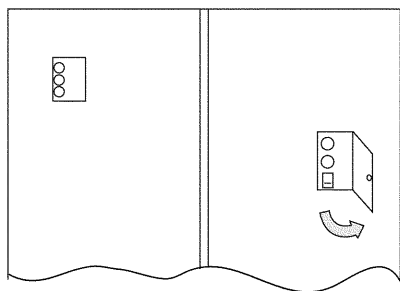
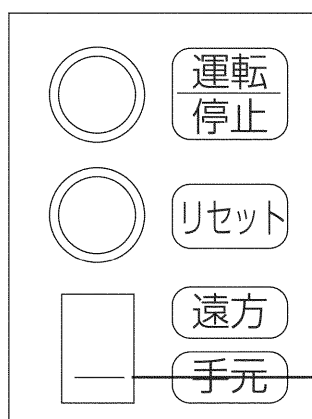
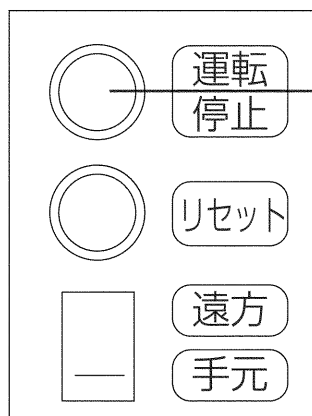
「温度差」にて室内温度と吹出温度の温度差を設定します。
選択できる範囲は５～10℃です。

温度制御設定			▲▼◀
AC	温度差		
5	＊＊＊.＊　℃		
6	＊＊＊.＊　℃		
7	＊＊＊.＊　℃		
8	＊＊＊.＊　℃		

※工場出荷時は、８℃に設定しています。

設定変更については、弊社までお問い合わせください。

2．操作部の名称とはたらき

3．手元運転のしかた

1 操作スイッチのフタを開けます。

2 遠方・手元切換

3 運転開始・停止

ご注意

●運転・停止以外の操作（温度設定等）は本ユニットからはできません。空調制御盤の操作パネルから行ってください。

●運転を停止するとき、遠方モードでは停止できません。手元モードに切換えてから、運転・停止スイッチを押してください。

4．機能説明

■室内風量設定

モード	内　容	運転中の風量
通常風量	初期設定のモード	17～44[15～37]Hz可変風量（42～102m³/min）
最低風量確保	設定により最低周波数を変更可能	設定周波数～44[～37]Hz可変風量（設定風量～102m³/min）
最大風量固定	設定により固定	機外静圧の違いにより、37～44 [31～37]Hzのいずれかに固定（102m³/min）

※[　　]内はPADY-P170NMT-A1の場合。

室内ファン周波数は、通常17～44Hz[15～37Hz]まで変化します。
室内機外静圧により、若干周波数が異なります。
ただし、保護制御のため運転中の風量が変化することがあります。
モードの変更方法は、空調制御盤取扱説明書を参照してください。

■空気温度制御方法

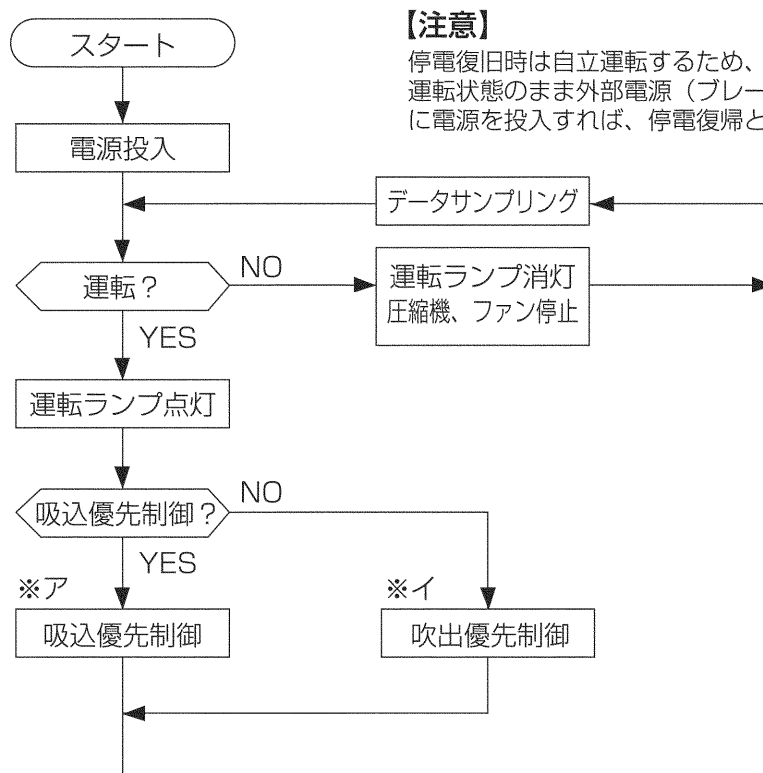
モード	内　容
吸込優先	冷媒回路の高圧（凝縮温度）、低圧（蒸発温度）目標に近づけるように圧縮機周波数、室内送風機風量、室外送風機風量を変化させることにより、空気温度の制御を行う。
吹出優先	

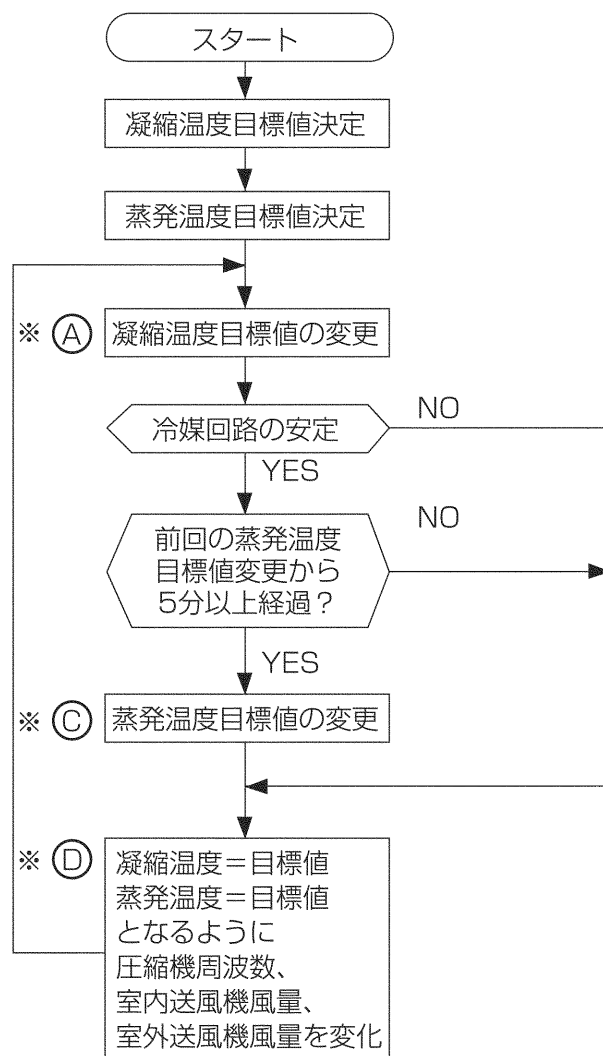
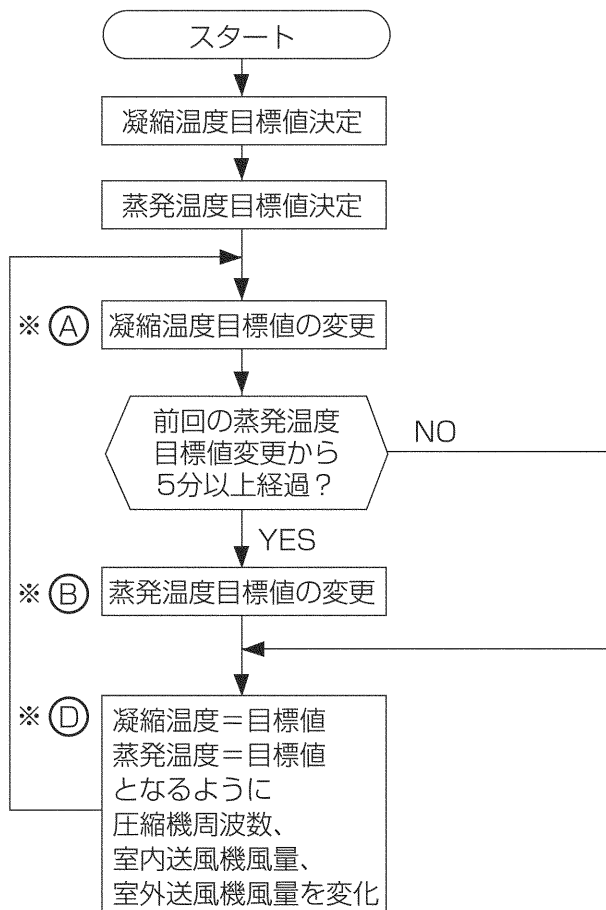
圧縮機周波数は、通常30Hz～50Hzまで変化します。
室内送風機風量は42～102m³/minで変化します。
室外送風機風量は20～102m³/minで変化します。
モードの変更方法は、空調制御盤取扱説明書を参照してください。

■モード変更による制御方法

		圧縮機周波数	室内送風機風量	室外送風機風量
通常風量	吸込優先	30～50Hzで変化	42～102m³/minで変化	20～102m³/minで変化
	吹出優先			
最低風量確保	吸込優先	30～50Hzで変化	設定風量～102m³/minで変化	20～102m³/minで変化
	吹出優先			
最大風量固定	吸込優先	モードなし		
	吹出優先	30～50Hzで変化	102m³/minで固定	20～102m³/minで変化

■運転フローチャート（通常制御）

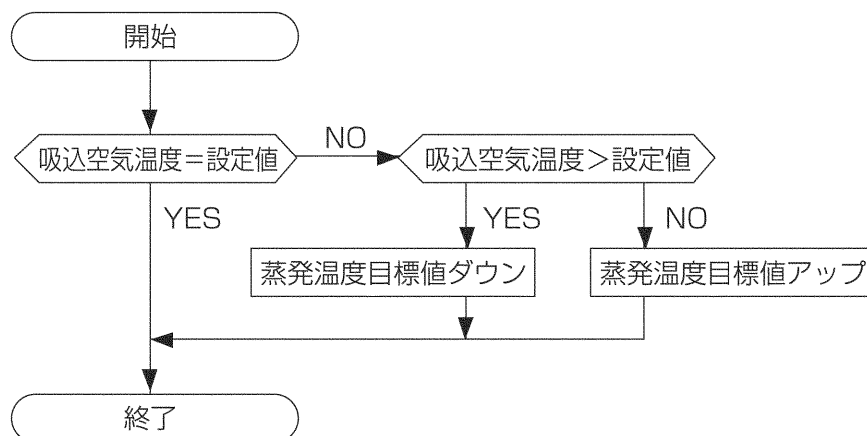
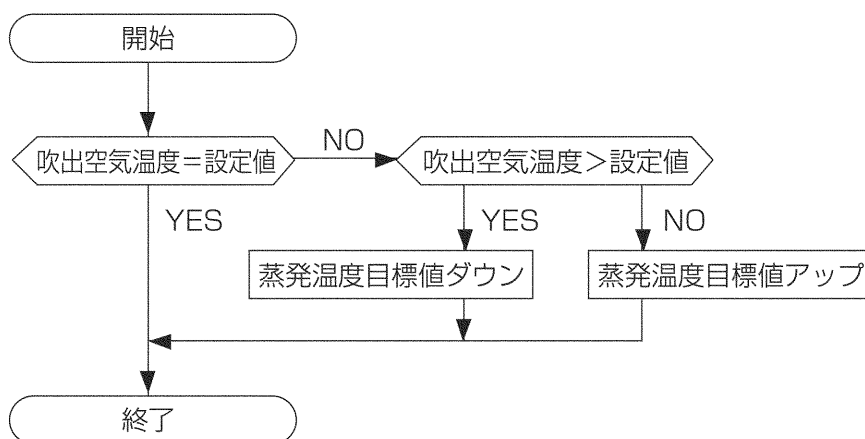
【注意】
停電復旧時は自立運転するため、電源投入時ご注意ください。
運転状態のまま外部電源（ブレーカー）をOFFした場合、次に電源を投入すれば、停電復帰と見なし運転を開始します。

※ア．吸込空気温度制御 20秒毎に以下の制御を行います。

※イ．吹出空気温度制御 20秒毎に以下の制御を行います。

※Ⓐ〜Ⓓは、次頁を参照してください。

Ⓐ 凝縮温度目標値の変更

室外気温から目標値を決定します。

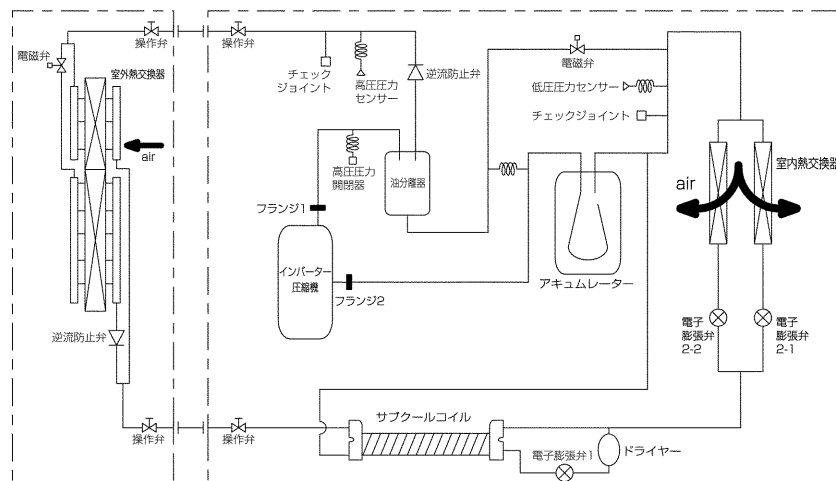
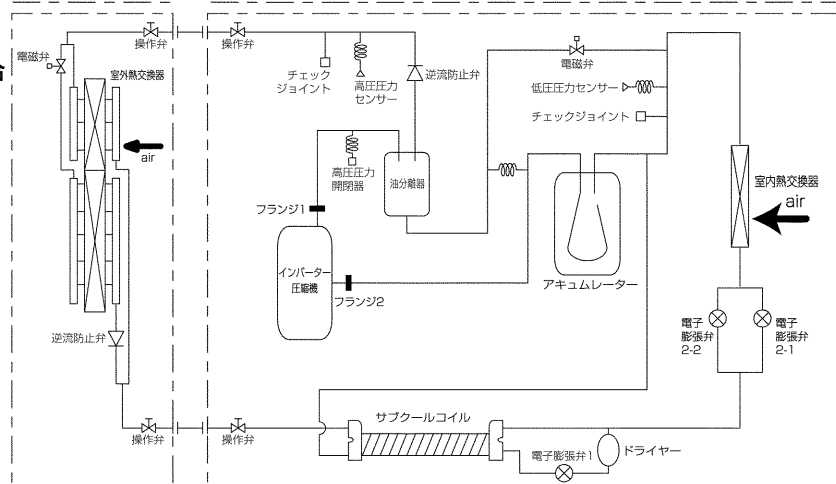
凝縮温度の目標値＝室外気温＋10℃
ただし25℃≦凝縮温度の目標値≦50℃

Ⓑ 蒸発温度目標値の変更（吸込空気温度制御）

Ⓒ 蒸発温度目標値の変更（吹出空気温度制御）

Ⓓ 圧縮機周波数、室内送風機風量、室外送風機風量制御

凝縮温度＝目標値
蒸発温度＝目標値
となるよう下表(目安)の制御を行います。

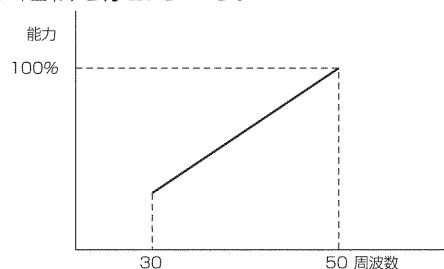
	圧縮機周波数	室内送風機風量	室外送風機風量
凝縮温度＞目標値	ダウン	ダウン	アップ
凝縮温度＝目標値	現状維持	現状維持	現状維持
凝縮温度＜目標値	アップ	アップ	ダウン
蒸発温度＞目標値	アップ	ダウン	アップ
蒸発温度＝目標値	現状維持	現状維持	現状維持
蒸発温度＜目標値	ダウン	アップ	ダウン

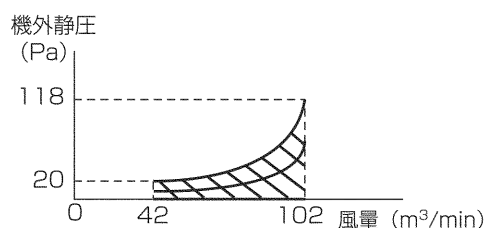
●凝縮温度と蒸発温度の判定による制御方向が逆の場合、蒸発温度側の判定を優先します。
●プルダウンおよび過剰能力時は、室内送風機風量は上表と異なる制御を行う場合があります。

■冷媒系統の機能説明

【室内ユニット】

- ●圧縮機　…………………インバーター駆動により、30Hz～50Hz運転が可能なスクロール圧縮機。
- ●電子膨張弁1　…………サブクール制御を行う。
- ●電子膨張弁2-1,2-2　…過熱度制御を行う、パルス駆動リニア制御弁。（停止時は全閉）
- ●低圧圧力センサー　……吸入圧力を検知し、吸入圧力低下時の保護制御および、冷房能力の計算に使用する。
- ●高圧圧力センサー　……吐出圧力を検知し、吐出圧力上昇時の保護制御と冷房能力の計算に使用する。
- ●高圧圧力開閉器　………設定圧力2.98MPa以上で“開”となり、運転を停止させる。

■圧縮機の容量制御

インバーター圧縮機を30Hz～50Hzで制御します。
制御ステップは1Hz毎です。
周波数の変化幅は最大 5 Hzです。

■室内ファンの容量制御

インバーター制御により、室内ファンを17～44[15～37]Hzの間で風量制御します。（下図の斜線部分）
風量102m³/min時の機外静圧の違いにより、インバーター制御テーブルを変更します。

102m³/min時の機外静圧	周波数の制御範囲
118Pa	20～44[15～37]Hz
60Pa	19～40[15～34]Hz
0Pa	17～37[15～31]Hz

[　] 内PADY-P170NMT-A1の場合

4．お手入れのしかた

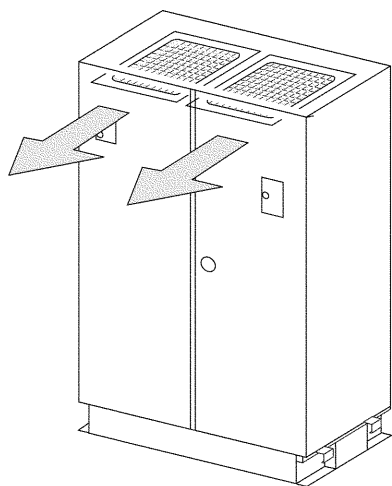
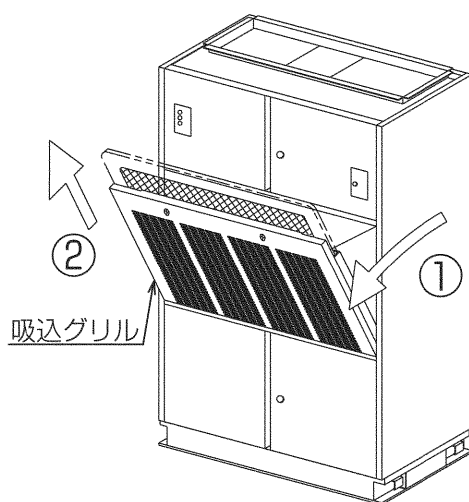
お手入れの前に、必ず元電源を「切」にしてください。

⚠注意

掃除をするときは、必ず運転を停止して電源スイッチを切ってください。内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。

■室内ユニットのお手入れ

●室内ユニットには、吸込空気のゴミを取るためのエアフィルターがあります。下図を参照して、フィルターを清掃してください。（エアフィルターは3ヶ月に一度は点検し、清掃してください。）

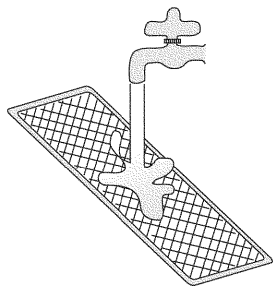
【エアフィルターの外しかた】

【PADY-P170NM-A2】

【PADY-P170NMT-A1】

①吸込グリルのカギ(2カ所)を開けゆっくりと手前に倒してください。
②エアフィルターを取出してください。

⚠注意

フィルターの着脱のときは不安定な台に乗らない
●落下・転倒によるケガの原因になります。
フィルターの着脱には保護具（メガネなど）を着用する
●目にゴミが入り、ケガの原因になります。

【清掃のしかた】

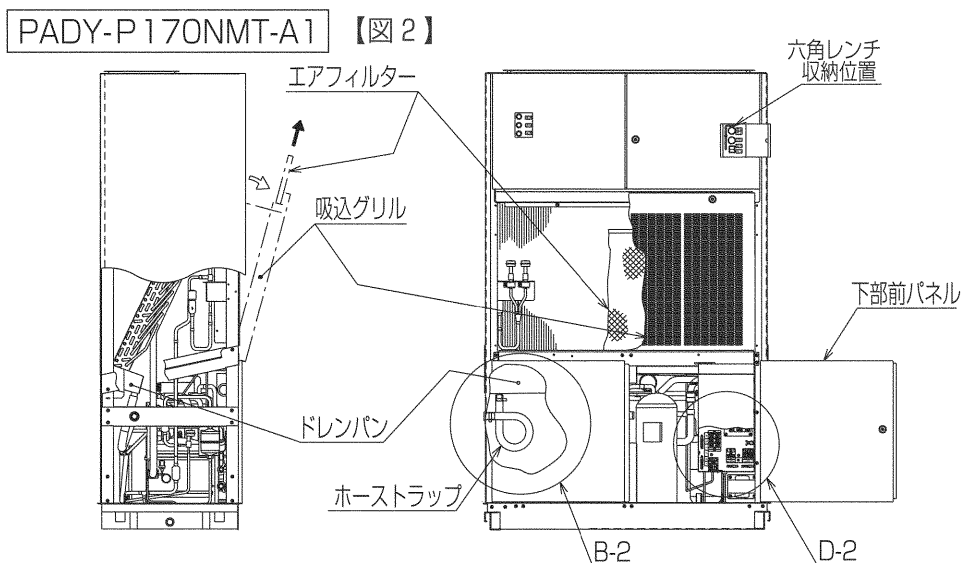
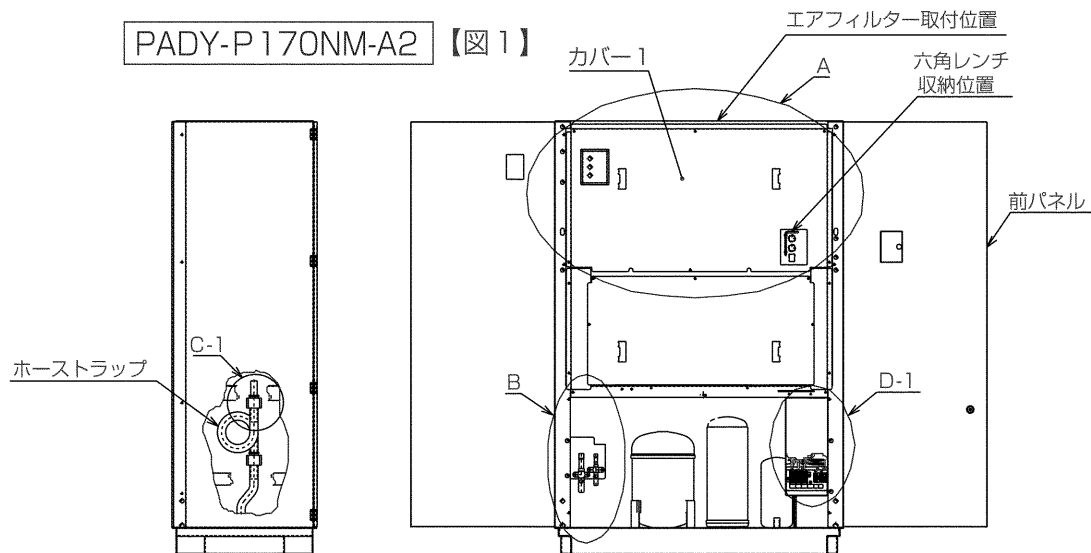
●中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水でゆすぎ洗いし、その後洗剤をよく洗い落としてください。洗ったあとは、乾燥させてから元どおりに取付けてください。

ご注意

●フィルターを直接日光に当てたり、火にあぶって乾かさないでください。変形することがあります。
●熱い湯（50℃以上）で洗うと、変形することがあります。

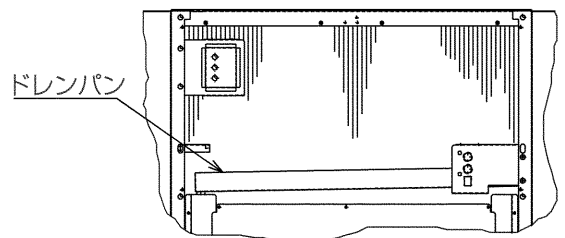
⚠注意

エアコンには、水をかけたり、可燃性スプレー等を吹きつけたりしないでください。
水をかけたり、可燃性スプレー等を吹きつけて清掃すると、エアコンの故障や感電・火災の原因になります。

PADY-P170NM-A2 【図1】

PADY-P170NMT-A1 【図2】

【ドレンパンの清掃のしかた】

(1)PADY-P170NM-A2の場合【図1】

①六角レンチ（サイズ：6mm）にて前パネルを開いてください。
　六角レンチは前パネルスイッチ部に収納しています。
②カバー1を外してください。（ローレットネジ3本）
③ドレンパンやドレン出口に付着しているホコリや
　ゴミを取除き、ぬれた布などでふいてください。
　このとき、板金エッジ等で手を切らないように注意してください。
④カバー1を元どおり取付けてください。
⑤前パネルを閉めてください。

【図3.A部詳細図】

(2)PADY-P170NMT-A1の場合【図2】

①六角レンチにて吸込グリルの鍵を開いてください。(2カ所)
　六角レンチは上部前パネルスイッチ部に収納しています。
②吸込グリルは、左右のストリングを外し、ゆっくりと手前上方に持ち上げて本体から外してください。
③ドレンパンやドレン出口に付着しているホコリやゴミを取除き、ぬれた布などでふいてください。
　このとき、板金エッジ等で手を切らないように注意してください。
④作業終了後、吸込グリルを取外しと逆の要領で取付けてください。
　ストリングは必ず元どおり取付けてください。

【ドレンホースの清掃のしかた】

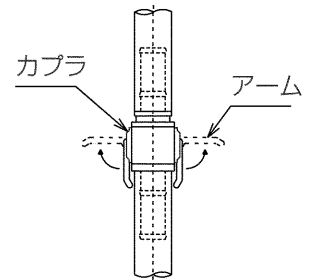
(1)PADY-P170NM-A2の場合

①六角レンチにて前パネルを開いてください。

②ドレンホースのカプラ（２カ所）を外してください。(【図１】 B、C部)
まず最初に下のカプラを外し、次に上のカプラを外してください。
カプラは図３に示すようにアーム（２本）を上へ持ち上げると簡単に外せます。
このとき、ホースラップにたまったドレンをユニット外へこぼさないよう注意してください。

③ドレンホースを清掃してください。

④ドレンホースを取付けてください。
取付け方は②と逆にカプラを差込んだあとアームを下げてください。

⑤前パネルを閉めてください。

【図４.C-1部詳細図】

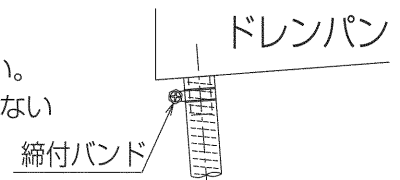
(2)PADY-P170NMT-A1の場合

①六角レンチにて下部前パネルの鍵を開け、扉を開いてください。

②ドレンホース上下の締付けバンドのネジを緩め、ホースを本体から外してください。
(【図２】 B-２部) このとき、ホーストラップにたまった水をユニット外へこぼさないよう注意してください。

③ドレンホースを清掃してください。

④ドレンホースを元どおり取付けてください。取付けの際は、根元までしっかり差込んでからバンドで締め付けるようにしてください。

⑤作業終了後、下部前パネルを閉めてください。

【図５.B-２部詳細図】

【メガーチェックのしかた】

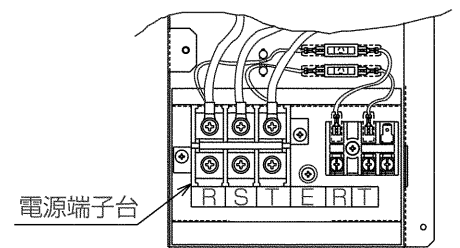
(1)PADY-P170NM-A2の場合

①電源を切ってから制御箱内コンデンサーが放電するまで５分程度待ちます。

②六角レンチにて前パネルを開いてください。

③図１D部の制御箱のカバーを開いてください。(ネジ１本)

④電源端子台の絶縁を測定してください。【図6】
・・・ＲＳＴ共測定してください。

⑤制御箱カバー、前パネルを閉めてください。

【図６.D-1部詳細図】

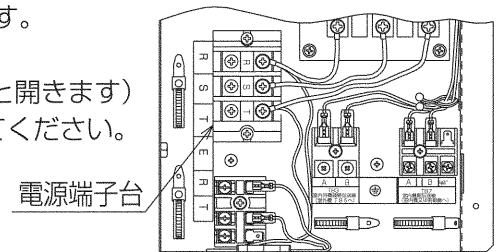
(2)PADY-P170NMT-A1の場合

①電源を切ってから制御箱内コンデンサーが放電するまで５分程度待ちます。

②六角レンチにて下部前パネルの鍵を開け、扉を開いてください。

③下図 B部の制御箱のカバーを開いてください。(ツマミネジ２個を外すと開きます)

④電源端子台の絶縁を測定してください。(右図) ・・・ＲＳＴ共測定してください。

⑤作業終了後、制御箱カバーおよび下部前パネルを閉めてください。

【図７.D-2部詳細図】

■室外ユニットのお手入れ

●清掃時は必ず室外ユニットの電源を遮断し、作業を行ってください。

⚠注意

清掃時、制御箱に放水しないよう注意してください。故障の原因になります。

5．サービスをお申しつけの前に

■故障画面表示の確認

故障発生時、液晶コントロールパネルは故障画面に遷移します。
下表を参照して表示されている異常コード、チェックポイントを確認してください。
故障画面の詳細については、空調制御盤の取扱説明書「5.液晶コントロールパネル操作方法」を参照してください。

【異常コード一覧（空調機）】

コード	空調機故障	故障画面表示	遠隔リセット可否
0403	シリアル通信異常ＩＰＭ通信	通信異常	○
1102	吐出温度異常	吐出管温度異常	×
1143	圧縮機温度異常	圧縮機故障	×
1302	高圧圧力異常	高圧圧力異常	×
1500	冷媒過充てんアキュムレーターオーバーフロー	冷媒不足・過多	×
2500	漏水異常フロートスイッチ作動	ドレンパン水位異常	×
4102	欠相異常	欠相異常	×
4103	逆相異常	逆相異常	×
4114	室内ファンコントローラー異常	送風機故障	○
4115	電源周波数異常	電源周波数異常	×
4116	室内ファンインナーサーモ異常	送風機故障	×
4200	INV・VDCセンサー／回路異常	圧縮機インバーター異常	○
4240	インバーター過負荷保護	圧縮機インバーター異常	○
4250	ＩＰＭ異常一括ＩＰＭ/母線電圧異常	圧縮機インバーター異常	○
5101	吐出温度センサー異常ＴＨ1	センサーエラー	○
5105	液管温度センサー異常ＴＨ5	センサーエラー	○
5106	外気温度センサー異常ＴＨ6	センサーエラー	○
5107	LEV前液管温度センサー異常ＴＨ7	センサーエラー	○
5108	ガス管温度センサー異常ＴＨ8	センサーエラー	○
5110	シェル下温度センサー異常ＴＨ10	センサーエラー	○
5121	室内吸込空気温度センサー異常ＴＨ21	センサーエラー	○
5122	室内熱交入口液温度センサー異常ＴＨ22	センサーエラー	○
5123	室内熱交出口ガス管温度センサー異常ＴＨ23	センサーエラー	○
5124	室内吹出空気温度センサー異常ＴＨ24	センサーエラー	○
5160	INV・THHSセンサー/回路異常	センサーエラー	○
5201	圧縮機吐出圧力センサー異常63ＨＳ	センサーエラー	○
5202	圧縮機吸入圧力センサー異常63ＬＳ	センサーエラー	○
5301	INV・IDCセンサ／回路異常	センサーエラー	○
5701	フロートスイッチ異常	センサーエラー	×
5801	電流センサー異常	センサーエラー	×
6600	室外ユニット停電	通信異常	○
	アドレス2重定義エラー		
6602	伝送プロセッサーH／Wエラー	通信異常	○
6603	伝送ＢＵＳＹエラー	通信異常	○
6606	伝送プロセッサーとの通信エラー	通信異常	○
6607	ＡＣＫ無しエラー	通信異常	○
6608	応答フレーム無しエラー	通信異常	○
7101	能力コードエラー	空調機初期設定異常	×
7102	アドレス2重定義エラー	空調機初期設定異常	×
7105	アドレス設定エラー	空調機初期設定異常	×
7108	室外ユニット誤設置	空調機初期設定異常	×

●空調機内の点検は、必ず空調機の電源を切ってから行ってください。
●チェックポイントの内容は、考えられる故障原因および遠隔リセットの可否を示しています。チェックポイントに従ってお調べになったうえで、動作不良の場合はお買い上げの販売店にご連絡ください。

■ワーニング画面表示の確認

ワーニング発生時、液晶コントロールパネルはワーニング画面に遷移します。下表を参照して表示されているワーニングコード、チェックポイントを確認してください。

【ワーニングコード一覧】

詳細ｺｰﾄﾞ	ワーニング画面表示
W１XX	吐出圧力垂下制御中
W２XX	吸入圧力垂下制御中
W３XX	吐出管温度垂下制御中
W９XX	センサー補完運転中
WAXX	リトライ運転中

●ワーニングは故障ではありません。
●チェックポイントの内容は、考えられる故障原因および遠隔リセットの可否を示しています。

次の場合は故障ではありません。

音がする

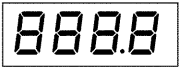
●運転中や停止時に「シュルシュル」などと、運転条件等により音の長さや大きさが異なる音が出る場合がありますがこれはエアコン内部の冷媒が流れ運転が安定してくるとなくなる通常運転の冷媒音ですので問題ありません。
安心してご使用ください。

上記確認をしたあとになお異常がある場合には、直ちに電源を切ってお近くのサービス窓口にご相談ください。

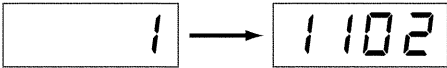
■サービスLED による故障判定

室内ユニット制御基板の自己診断スイッチ（SW1）とサービスLEDにより故障判定ができます。

【サービスLEDの表示方法】

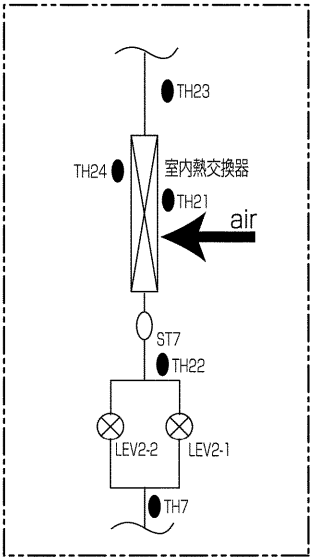
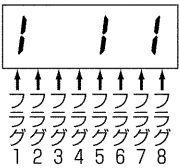
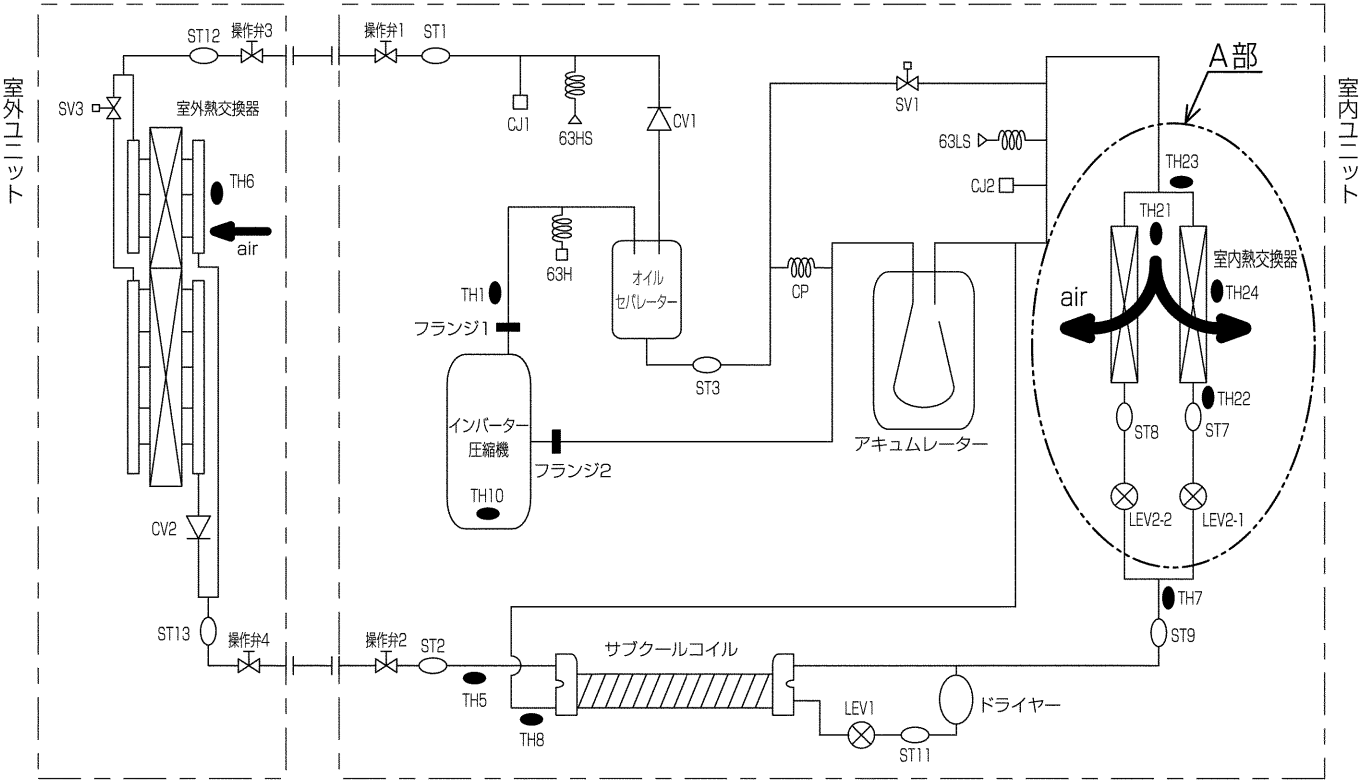
サービスLED（LD1）

・エラーコード表示の場合

発生アドレスとエラーコードを交互に表示

例　室内ユニットアドレス1、吐出温度異常（コード1102）のとき

・フラグ表示の場合

例　圧縮機運転、SV3　ONのとき

A部〈PADY-P170NMT-A1の場合〉

〈PADY-P170NM-A2の場合〉

【自己診断スイッチ(SW1)の設定とサービスLED(LD1)の表示内容】

No	SW1	項　目	表				示				備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
0	0000000000	ゾーンNo.、号機	ゾーンNo.（1桁）ー号機（2桁）								
		点検表示 （OC含む）	0000～9999 （アドレスとエラーコード反転）								
1	1000000000	リレー出力表示1	COMP 運転中	クランク ケース ヒーター	SV1		SV3			常時 点灯	
2	0100000000	上位通信	劣化 診断	保護 制御	警報 運転					センサー 補完中	
3	1100000000										
4	0010000000										
5	1010000000	手元スイッチ	遠方	手元		運転	停止			試運転	
6	0110000000	外部信号 ［入力中の信号］			スノー センサー						
7	1110000000	運転表示		拘束 通電中	3分 再起動	圧縮機 運転中	異常 猶予中	異常			
8	0001000000	機外静圧テーブル	A1	A0	A	B	C	D	E	F	
9	1001000000	制御モード	定時 制御	停止	サーモ OFF	異常 停止	拘束 通電	冷媒 回収	凍結 防止		
10	0101000000	異常猶予中	高圧 異常1,2	低圧異常 低圧異常1	吐出温 度異常	過電流 保護		過電流 遮断	INV 異常	冷媒 過充てん	
11	1101000000		シェル下 異常	逆相 欠相 異常	室内 ファンコン 異常	室内 インナサーモ 異常	漏水 異常				
12	0011000000		TH1 異常			TH5 異常	TH6 異常	TH7 異常	TH8 異常	TH10 異常	
13	1011000000			TH21 異常	TH22 異常	TH23 異常	TH24 異常	THHS 異常			
14	0111000000		HPS 異常	LPS 異常	FS 異常						
15	1111000000	異常猶予履歴	高圧 異常1,2	低圧異常 低圧異常1	吐出温 度異常	過電流 保護		過電流 遮断		冷媒 過充てん	
16	0000100000		シェル下 異常	逆相 欠相 異常	室内 ファンコン 異常	室内 インナサーモ 異常	漏水 異常				
17	1000100000		TH1 異常			TH5 異常	TH6 異常	TH7 異常	TH8 異常	TH10 異常	
18	0100100000			TH21 異常	TH22 異常	TH23 異常	TH24 異常	THHS 異常			
19	1100100000		HPS 異常	LPS 異常	FS 異常						
20	0010100000										

No	SW1	項　目	表				示				備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
21	1010100000	異常履歴	0000~9999								
22	0110100000	インバーター異常詳細	インバーター異常詳細（1~9）								
23	1110100000	異常履歴 2	0000~9999								
24	0001100000	インバーター異常詳細	インバーター異常詳細（1~9）								
25	1001100000	異常履歴 3	0000~9999								
26	0101100000	インバーター異常詳細	インバーター異常詳細（1~9）								
27	1101100000	異常履歴 4	0000~9999								
28	0011100000	インバーター異常詳細	インバーター異常詳細（1~9）								
29	1011100000	異常履歴 5	0000~9999								
30	0111100000	インバーター異常詳細	インバーター異常詳細（1~9）								
31	1111100000	異常履歴 6	0000~9999								
32	0000010000	インバーター異常詳細	インバーター異常詳細（1~9）								
33	1000010000	異常履歴 7	0000~9999								
34	0100010000	インバーター異常詳細	インバーター異常詳細（1~9）								
35	1100010000	異常履歴 8	0000~9999								
36	0010010000	インバーター異常詳細	インバーター異常詳細（1~9）								
37	1010010000	異常履歴 9	0000~9999								
38	0110010000	インバーター異常詳細	インバーター異常詳細（1~9）								
39	1110010000	異常履歴10	0000~9999								
40	0001010000	インバーター異常詳細	インバーター異常詳細（1~9）								
41	1001010000	インバーター異常猶予の種類 (No.12のインバーター異常の詳細)	0000~9999								
42	0101010000										
43	1101010000	TH1データ	−99.9~999.9								
44	0011010000		−								
45	1011010000		−								
46	0111010000	TH5データ	−99.9~999.9								
47	1111010000	TH6データ	↑								
48	0000110000	TH7データ	↑								
49	1000110000	TH8データ	↑								
50	0100110000	TH10データ	↑								
51	1100110000		−								
52	0010110000	TH21データ	−99.9~999.9								
53	1010110000	TH22データ	↑								

No	SW1	項　目	表				示				備　考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
54	0110110000	TH23データ	−99.9~999.9								
55	1110110000	TH24データ	↑								
56	0001110000	THHSデータ	↑								
57	1001110000	HPSデータ	↑								
58	0101110000	LPSデータ	↑								
59	1101110000										
60	0011110000	Hz増減	△Hz +	—	△Hz —	—	0~99				
61	1011110000	AK増減	△AK +	—	△AK —	—	0~99				
62	0111110000	BK増減	△BK +	—	△BK —	—	0~99				
63	1111110000	目標Tcとの差 (Tcm−Tc)	低い -3K 以下	低い -3~-2 K	低い -2~-1 K	安定域		高い 1~2 K	高い 2~3 K	高い 3K 以上	
64	0000001000	目標Teとの差 (Tem−Te)	低い -3K 以下	低い -3~-2 K	低い -2~-1 K	安定域		高い 1~2 K	高い 2~3 K	高い 3K 以上	
65	1000001000	Tc	−99.9~999.9								
66	0100001000	Te	↑								
67	1100001000	Tcm	0~9999								
68	0010001000	Tem	↑								
69	1010001000	Tc＊	↑								
70	0110001000	Te＊	↑								
71	1110001000	周波数	↑								
72	0001001000	INV出力周波数	↑								
73	1001001000	AK	↑								
74	0101001000	BK	↑								
75	1101001000		–								
76	0011001000	LEV1	0~9999								
77	1011001000	LEV2	↑								
78	0111001000	バランス運転データ	−99.9~999.9								
79	1111001000	室内ﾌｧﾝｲﾝﾊﾞｰﾀｰ周波数	0~9999								
80	0000101000	直流母線電流	−99.9~999.9								
81	1000101000	SHB	↑								
82	0100101000	SCO	↑								
83	1100101000	SCC	↑								
84	0010101000	△SC	↑								
85	1010101000	室内ユニットSH	↑								

No	SW1	項目	表示								備考
	1234567890		LD1	LD2	LD3	LD4	LD5	LD6	LD7	LD8	
86	0110101000	AL	0~9999								
87	1110101000	OCアドレス	↑								
88	0001101000	ICアドレス	↑								
89	1001101000	COMP運転時間上４ｹﾀ	↑								
90	0101101000	下４ｹﾀ	↑								
91	1101101000	劣化診断	圧縮機劣化	膨張弁劣化	冷却能力劣化	室外熱交汚れ	ﾌｨﾙﾀｰ汚れ				
92	0011101000	保護制御	吐出圧力垂下	吸入圧力垂下	吐出管温度垂下						
93	1011101000	警報運転	ｻｰﾐｽﾀｰ補完	ﾘﾄﾗｲ運転	冷媒不足運転	過熱運転					
94	0111101000	運転パターン風量設定	通常	エンジン	バッテリー	吹出優先	吸込優先	通常	最低風量設定	風量固定	
95	1111101000	設定温度	吹出設定温度	—	吸込設定温度	—	0~99				
96	0000011000	MTTR上４ｹﾀ	0~9999								
97	1000011000	下４ｹﾀ	↑								
98	0100011000	補完中ｻｰﾐｽﾀｰ表示				TH5	TH6	TH7	TH8		
99	1100011000			TH21	TH22	TH23	TH24	THHS			
100	0010011000	TH1データ	−99.9~999.9								
101	1010011000		−								
102	0110011000		−								
103	1110011000	TH5データ	−99.9~999.9								
104	0001011000	TH6データ	↑								
105	1001011000	TH7データ	↑								
106	0101011000	TH8データ	↑								
107	1101011000	TH10データ	↑								
108	0011011000		−								
109	1011011000	TH21データ	−99.9~999.9								
110	0111011000	TH22データ	↑								
111	1111011000	TH23データ	↑								
112	0000111000	TH24データ	↑								
113	1000111000	THHSデータ	↑								
114	0100111000										
115	1100111000										
116	0010111000										
117	1010111000										
118	0110111000										
119	1110111000										

6．仕　　様

【仕様表】　PADY-P170NM-A2(下吹きタイプ)

機種名				室内ユニット	室外ユニット
機種形名				PADY−P170NM−A2	PVDY−P170NM−A2,A3(-BS,-BSG)
形式				空冷式	
顕熱能力 ※1			kW	17.0	
消費電力 ※1			kW	7.07	
電流　※1			A	22.6	
室内ユニット	電　源			3相　200V　50／60Hz	
	外　装			マンセル　5Y8／1	
	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	1800×1195×600	
	圧縮機	形式		全密閉式スクロール形	
	室内側熱交換器			クロスフィンコイル式	
	送風機	形式		シロッコファン	
		制御		インバーター	
		風量（50/60Hz）	m^3/min	42〜102	
		機外静圧	Pa	118	
		駆動方式		ダイレクト駆動	
	接続配管	液管		φ12.7C1220T	
		ガス管		φ19.05C1220T	
室外ユニット	外　装			マンセル　5Y8／1	
	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	1600×1200×600	
	室外側熱交換器			クロスフィンコイル式	
	送風機	形式		プロペラファン	
		風量（50/60Hz）	m^3/min	102	
		駆動方式		ダイレクト駆動	
	接続配管	液管		φ12.7C1220T	
		ガス管		φ19.05C1220T	
保護装置 高圧／圧縮機／送風機／インバーター				圧力センサー、高圧圧力開閉器／過電流保護、過昇保護／過電流保護、温度開閉器／直流母線電流、過昇保護	
容量制御				圧縮機回転数制御	
冷媒制御				電子膨張弁	
冷媒配管	標準長さ		m	5	
	最大長さ		m	実配管長120	
	最大高低差		m	40	
冷　媒	冷媒名			R407C	
	充てん量		kg	9　※2	
冷凍機油	冷媒機油			MEL32	
	充てん量		リットル	3	
法定冷凍トン				1.62	

※1.JIS　B8616の条件　<室内側吸込空気温度27.0℃DB/19.0℃WB、室外側吸込空気温度35.0℃DB>
冷媒配管長5mで運転した場合の値です。

※2.工場出荷時、機器には配管長5m相当の冷媒（9.0kg）を充てんしています。
配管長が5m以上の場合は、下式に従った冷媒量を追加充てんしてください。（最大120m）

追加冷媒量＝（全配管長ー５）×0.12 (kg)

⚠注意

使用温湿度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な故障の原因になります。

【仕様表】　PADY-P170NMT-A1(上吹きタイプ)

機種名				室内ユニット	室外ユニット
機種形名				PADY−P170NMT−A1	PVDY−P170NM−A2,A3(-BS,-BSG)
形式				空冷式	
顕熱能力 ※1			kW	17.0	
消費電力 ※1			kW	7.07	
電流　※1			A	22.6	
室内ユニット	電　源			3相　200V　50／60Hz	
	外　装			マンセル　5Y8／1	
	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	1900×1195×600	
	圧縮機	形式		全密閉式スクロール形	
	室内側熱交換器			クロスフィンコイル式	
	送風機	形式		シロッコファン	
		制御		インバーター	
		風量（50/60Hz）	m³/min	42〜102	
		機外静圧	Pa	118	
		駆動方式		ダイレクト駆動	
	接続配管	液管		φ12.7C1220T	
		ガス管		φ19.05C1220T	
室外ユニット	外　装			マンセル　5Y8／1	
	外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	1600×1200×600	
	室外側熱交換器			クロスフィンコイル式	
	送風機	形式		プロペラファン	
		風量（50/60Hz）	m³/min	102	
		駆動方式		ダイレクト駆動	
	接続配管	液管		φ12.7C1220T	
		ガス管		φ19.05C1220T	
保護装置 高圧／圧縮機／送風機／インバーター				圧力センサー、高圧圧力開閉器／過電流保護、 過昇保護／過電流保護、温度開閉器／直流母線電流、 過昇保護	
容量制御				圧縮機回転数制御	
冷媒制御				電子膨張弁	
冷媒配管	標準長さ		m	5	
	最大長さ		m	実配管長120	
	最大高低差		m	40	
冷　媒	冷媒名			R407C	
	充てん量		kg	9　※2	
冷凍機油	冷媒機油			MEL32	
	充てん量		リットル	3	
法定冷凍トン				1.62	

※1.JIS　B8616の条件　<室内側吸込空気温度27.0℃DB/19.0℃WB、室外側吸込空気温度35.0℃DB>
　冷媒配管長5mで運転した場合の値です。
※2.工場出荷時、機器には配管長5m相当の冷媒（9.0kg）を充てんしています。
　配管長が5m以上の場合は、下式に従った冷媒量を追加充てんしてください。（最大120m）
　追加冷媒量＝（全配管長ー5）×0.09 (kg)

⚠注意

使用温湿度の範囲から外れたところで使用しますと、重大な故障の原因になります。

【室内ユニット主要部品構成表】

	名　称	素　材	
		PADY-P170NM-A2	PADY-P170NMT-A1
主　骨	————	台　枠：合金化溶融亜鉛メッキ鋼板　3.2Ｔ エポキシ樹脂塗装　黒色	
外　装	————	パネル：合金化溶融亜鉛メッキ鋼板　1.0Ｔ 粉体塗装 柱：溶融亜鉛メッキ鋼板　3.2Ｔ	
圧縮機	圧縮機(全密閉式スクロール形)	————	
送風機	ファン (両吸込形シロッコファン、電動機直結式)	溶融亜鉛メッキ鋼板 0.6Ｔ	
	ケーシング	溶融亜鉛メッキ鋼板 0.6Ｔ	
電動機	モーター (３相200Ｖ ４極)	フレーム　ＡＣ２Ａ	
		シャフト　Ｓ－３５Ｃ	
熱交換器	チューブ	Ｃ1220Ｔ φ7.2×0.25Ｔ	Ｃ1220Ｔ φ9.52×0.30Ｔ
	フィン	アルミ（ｱｸﾘﾙ樹脂ｺｰﾃｨﾝｸﾞ）	
	ヘッダ	Ｃ1220Ｔ φ25.4×1.2Ｔ	
	側　板	溶融亜鉛メッキ鋼板　1.2Ｔ	
ドレンパン	蒸発器用ドレンパン	ＳＵＳ304　1.2Ｔ	
	エマージェンシードレンパン	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 2.3Ｔ エポキシ樹脂塗装　黒色	
フィルター	フィルター	ＰＶＣ塩ビハニカム　EH4000	
機内配管	冷媒配管	りん脱酸銅継目無管	
断熱材	断熱材	グラスウール　40Ｋ　10Ｔ　表面処理：飛散防止処理 15Ｔ　※風路部ガラスクロス貼り ポリエチレンフォーム　10Ｔ	

【室外ユニット主要部品構成表】

	部品名	素　材	表面処理	標準	耐塩害(-BS)	耐重塩害(-BSG)
主骨	シタワク	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 1.6T	内外面塗装（粉体塗装）	○	○	○
外装	パネル	合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 0.8T	内外面塗装（薄膜粉体塗装）	○	—	—
			内外面塗装（粉体塗装）	—	○	○
送風機	プロペラファン	樹脂（ＡＳ）	素地のまま	○	○	○
	ガード	鉄線	ＰＥコーティング	○	○	○
	ドラム	樹脂（ＰＰ）	素地のまま	○	○	○
電動機	モーター	フレーム：アルミダイキャスト	素地のまま	○	○	○
	（単相200V ４極）	シャフト：Ｓ４５Ｃ	クリアラッカー（青ニス入り）	○	○	○
熱交換器	チューブ	銅 φ9.52×0.41T	素地のまま	○	—	—
			アミノアルキド樹脂	—	○	○
	フィン	アルミニウム 0.1T （プレコート材）	セルロース系＋ウレタン系樹脂	○	—	—
			セルロース系＋ウレタン系樹脂 ＋アミノアルキド樹脂	—	○	○
	ヘッダ	銅 φ22.2 ,φ19.05	素地のまま	○	○	○
	側板	溶融亜鉛メッキ鋼板 1.2T	クロメート被膜	○	—	—
			クロメート被膜＋アミノアルキド樹脂	—	○	○
制御箱	制御箱外装	溶融亜鉛メッキ鋼板 1.0T	クロメート被膜	○	○	—
		合金化溶融亜鉛メッキ鋼板 1.0T	内外面塗装（粉体塗装）	—	—	○
機内配管	冷媒配管	りん脱酸銅継目無管	素地のまま	○	○	○
その他	配管ロウ付	リンドウロウ	素地のまま	○	○	○
	ネジ	ネジ用鋼材	亜鉛-ニッケル合金メッキ	○	○	○

7．保証とアフターサービス

保証書（別添付）

■保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間：お買い上げ日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間は

■エアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後、９年間です。この期間は、経済産業省の指導によるものです。
■性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

■「故障かな？」と思ったら（19ページ）に従ってお調べください。
・なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず制御盤側の漏電遮断器を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
■保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
■修理料金は
○技術料＋部品代（出張料）などで構成されています。

【ご連絡いただきたい内容】
1．品　名
2．形　名
3．お買い上げ日
4．故障の状況　　できるだけ詳しく（リモコンのエラー表示記号など）
5.ご住所　　付近の目印なども
6.お名前・電話番号

製品の形名・製造番号は、本体に貼付してある製品名板にも記載されています。
サービスマンがお伺いした折には、必ず保証書をお示し願います。

アフターサービスご契約のおすすめ

■当社指定のサービス会社と保守契約（有料）いただければ、専門のサービスマンがお客様に代わって保守点検を致します。万一の故障時も早期に発見し適切な処置を行うことができます。

企画開発　株式会社 NTTファシリティーズ

設計・製造　三菱電機株式会社

愛情点検

●長年ご使用のエアコンの点検を！

エアコン補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？	●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水が漏れる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。			
お買い上げ店名	電話		
お買い上げ(据付)日	年	月	日

〒100-8310 東京都千代田区丸の内2-7-3（東京ビル）
〒640-8686 和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所(073)436-2111

WT04628X02